



RADIUS VC ロギング

RADIUS 仮想回線 (VC) ロギングを使用すると、着信サブスクリバセッションの仮想パスインターフェイス (VPI) と仮想回線インターフェイス (VCI) を Cisco IOS XE で正確に記録できます。

RADIUS VC ロギングを有効にすると、RADIUS ネットワーク アクセス サーバ (NAS) のポートフィールドが拡張され、VPI/VCI 情報を伝送するように変更されます。この情報は、セッションの起動時に作成された RADIUS アカウンティング レコードに記録されます。

- [機能情報の確認 \(1 ページ\)](#)
- [RADIUS VC ロギングの設定方法 \(2 ページ\)](#)
- [RADIUS VC ロギングの設定例 \(6 ページ\)](#)
- [その他の参考資料 \(6 ページ\)](#)
- [RADIUS VC ロギングの機能情報 \(7 ページ\)](#)

機能情報の確認

ご使用のソフトウェアリリースでは、このモジュールで説明されるすべての機能がサポートされているとは限りません。最新の機能情報および警告については、「[Bug Search Tool](#)」およびご使用のプラットフォームおよびソフトウェア リリースのリリース ノートを参照してください。このモジュールで説明される機能に関する情報、および各機能がサポートされるリリースの一覧については、機能情報の表を参照してください。

プラットフォームのサポートおよびシスコ ソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、www.cisco.com/go/cfn に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

RADIUS VC ロギングの設定方法

NSP での NME インターフェイス IP アドレスの設定

RADIUS アカウンティング パケットの NAS-IP-Address フィールドには、NME がシャットダウンされた場合でも、ネットワーク サービス プロバイダー (NSP) のネットワーク管理イーサネット (NME) ポートの IP アドレスが含まれています。IP アドレスを取得するためにネットワーク ルート プロセッサ (NRP) で DHCP サーバを使用しない場合、静的 IP アドレスを設定する必要があります。次の手順を実行して、静的に結合された NME IP アドレスを設定します。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **interface BVI *bridge-group***
4. **ip address *address subnet***
5. **exit**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。 • パスワードを入力します (要求された場合)。
ステップ 2	configure terminal 例： Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	interface BVI <i>bridge-group</i> 例： Router(config)# interface BVI1	結合されたブリッジグループ仮想インターフェイス (BVI) NME インターフェイスを選択して、インターフェイス コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 4	ip address <i>address subnet</i> 例： Router(config-if)# ip address 209.165.200.225 255.255.255.224	静的 IP アドレスとサブネットワーク アドレスを設定します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 5	exit 例 : <pre>Router(config)# exit</pre>	インターフェイス コンフィギュレーション モードを終了します。

NME IP アドレスの設定

結合された NME インターフェイスの代わりに、ギガビットイーサネット ポートを別の NME インターフェイスとして使用できます。次の手順を実行して NME IP アドレスを設定します。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **interface GigabitEthernet** *number*
4. **ip address** *address* *mask*
5. **exit**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例 : <pre>Router> enable</pre>	特権 EXEC モードをイネーブルにします。 <ul style="list-style-type: none"> • パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	configure terminal 例 : <pre>Router# configure terminal</pre>	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	interface GigabitEthernet <i>number</i> 例 : <pre>Router(config)# interface GigabitEthernet 0/0/0</pre>	NME インターフェイスを選択します。
ステップ 4	ip address <i>address</i> <i>mask</i> 例 : <pre>Router(config-if)# ip address 209.165.200.225 255.255.255.224</pre>	静的 IP アドレスとサブネットワーク アドレスを設定します。 (注) NRP で PVC を設定する前に、NME IP アドレスを設定する必要があります。そうしないと、RADIUS アカウンティングパケットの NAS-IP-Address フィールドに正しくない IP アドレスが含まれます。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 5	exit 例： Router(config)# exit	設定モードを終了します。

NRP での RADIUS VC ログインの設定

次の手順を実行して RADIUS VC ログインを設定します。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **radius-server attribute nas-port format d**
4. **exit**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Router> enable	特権 EXEC モードをイネーブルにします。 • パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	configure terminal 例： Router# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	radius-server attribute nas-port format d 例： Router(config)# radius-server attribute nas-port format d	NAS ポート フィールドに ATM VC（仮想回線）拡張形式を選択します。
ステップ 4	exit 例： Router(config)# exit	インターフェイス コンフィギュレーション モードを終了します。

NME インターフェイス IP アドレスの確認

NME IP アドレスを確認するには、NSP で **show interface bvi1** または **show interface e0/0/0 EXEC** コマンドを入力します。インターネットアドレス ステートメント (矢印で示されます) を確認します。

```
Router# show interface bvi1 BVI1 is up, line protocol is up
  Hardware is BVI, address is 0010.7ba9.c783 (bia 0000.0000.0000)
    MTU 1500 bytes, BW 10000 Kbit, DLY 5000 usec,
      reliability 255/255, txload 1/255, rxload 1/255
  Encapsulation ARPA, loopback not set
  ARP type:ARPA, ARP Timeout 04:00:00
  Last input never, output never, output hang never
  Last clearing of "show interface" counters never
  Queueing strategy:fifo
  Output queue 0/0, 0 drops; input queue 0/75, 0 drops
  5 minute input rate 0 bits/sec, 0 packets/sec
  5 minute output rate 0 bits/sec, 0 packets/sec
    1540 packets input, 302775 bytes, 0 no buffer
    Received 0 broadcasts, 0 runts, 0 giants, 0 throttles
    0 input errors, 0 CRC, 0 frame, 0 overrun, 0 ignored, 0 abort
    545 packets output, 35694 bytes, 0 underruns
    0 output errors, 0 collisions, 0 interface resets
    0 output buffer failures, 0 output buffers swapped out
```

NRP での RADIUS VC ロギングの確認

RADIUS サーバ上の RADIUS VC ロギングを確認するには、RADIUS アカウンティング パケットを検査します。RADIUS VC ロギングが Cisco IOS XE ソフトウェアで有効になっている場合、RADIUS アカウンティング パケットは次の例のように表示されます。

```
Wed Jun 16 13:57:31 1999
NAS-IP-Address = 192.168.100.192
NAS-Port = 268566560
NAS-Port-Type = Virtual
User-Name = "cisco"
Acct-Status-Type = Start
Service-Type = Framed
Acct-Session-Id = "1/0/0/2.32_00000009"
Framed-Protocol = PPP
Framed-IP-Address = 172.16.7.254
Acct-Delay-Time = 0
```

NAS-Port フィールドは、RADIUS VC ロギングが有効であることを示します。この行が出力に表示されない場合、RADIUS VC ロギングは Cisco IOS XE ソフトウェアで有効になっていません。

また、Acct-Session-Id フィールドでは、着信 NSP インターフェイスと VPI/VCI 情報を次の形式で識別します。

```
Acct-Session-Id = "slot/subslot/port/VPI.VCI_acct-session-id"
```

RADIUS VC ログインの設定例

NSP での NME インターフェイス IP アドレスの設定例

次に、ブリッジグループ仮想インターフェイスの静的 IP およびサブネットワーク アドレスを設定する例を示します。

```
Router> enable
Router# configure terminal
Router(config)# interface BV11
ip address 209.165.200.225 255.255.255.224
Router(config)# exit
```

NME IP アドレスの設定例

次に、GigabitEthernet インターフェイスを設定する例を示します。

```
Router> enable
Router# configure terminal
Router(config)# interface GigabitEthernet 0/0/0
Router(config-if)# ip address 209.165.200.225 255.255.255.224
Router(config)# exit
```

NRP での RADIUS VC ログインの設定例

次に、NRP で RADIUS VC ログインを設定する例を示します。

```
Router> enable
Router# configure terminal
Router(config)# radius-server attribute nas-port format d
Router(config)# exit
```

その他の参考資料

関連資料

関連項目	マニュアルタイトル
Cisco IOS コマンド	『Cisco IOS Master Security Commands List, All Releases』

MIB

MIB	MIB のリンク
なし	<p>選択したプラットフォーム、Cisco IOS XE ソフトウェア リリース、およびフィーチャセットの MIB の場所を検索しダウンロードするには、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用します。</p> <p>http://www.cisco.com/go/mibs</p>

RFC

RFC	タイトル

シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
<p>シスコのサポート Web サイトでは、シスコの製品やテクノロジーに関するトラブルシューティングにお役立ていただけるように、マニュアルやツールをはじめとする豊富なオンラインリソースを提供しています。</p> <p>お使いの製品のセキュリティ情報や技術情報を入手するために、Cisco Notification Service (Field Notice からアクセス)、Cisco Technical Services Newsletter、Really Simple Syndication (RSS) フィードなどの各種サービスに加入できます。</p> <p>シスコのサポート Web サイトのツールにアクセスする際は、Cisco.com のユーザ ID およびパスワードが必要です。</p>	<p>http://www.cisco.com/cisco/web/support/index.html</p>

RADIUS VC ロギングの機能情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェア リリース トレインで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースだけを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェア リリースでもサポートされます。

プラットフォームのサポートおよびシスコ ソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、www.cisco.com/go/cfn に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 1: ゾーンベース ポリシー ファイアウォールの機能情報

機能名	リリース	機能の設定情報
RADIUS VC ログイン	Cisco IOS XE Release 3.1S	RADIUS 仮想回線 (VC) ログインを使用すると、着信サブスクリバセッションの仮想パス インターフェイス (VPI) と仮想回線インターフェイス (VCI) を Cisco IOS XE ソフトウェアで正確に記録できます。